

0. 教材の準備

- (1) インターネットを起動する。
- (2) 次の検索を行い学習会用資料を取得する。
検索項目 山本行雄 徳間
> 徳間技研・山本行雄から次を開く www13.plala.or.jp/tokuma-giken/
> 3-1 山本行雄のホームページを開く
> IT・Sの会から「(18) 2011年9月の学習会資料」を開く。
- (3) デスクトップに新しいフォルダを作成する。フォルダ名を「画像ツール」とする。
- (4) フォルダ「画像ツール」にホームページの写真3枚をドラッグする。以下、このフォルダ内の写真を使う。準備した写真は次の3枚です。



写真 1

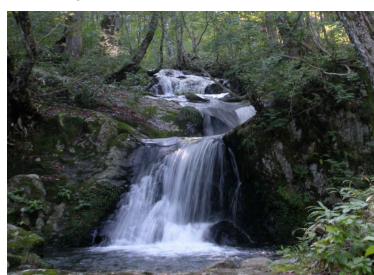


写真 2



写真 3

(自分の写真を処理する場合は、フォルダ「画像ツール」の代わりに自分の写真の入っているフォルダを使います。)

- (5) Word の文書を開き、そこにフォルダ「画像ツール」の写真ドラッグする。
- (6) 写真3枚を適当に縮小してコピー貼り付けをして、同じ写真を2枚ずつ並べる。
- (7) ホームページの文をコピー貼り付けする。
- (8) インターネットを終了する

備考

- (1) PC を使用する場合、インターネットを検索しその中の情報を必要に応じて取り出す操作はいつでもできるようにしておきたいものです。もちろん、著作権等について十分配慮する必要があります。
- (2) Word 2010 の画像ツールを使って、写真の明るさ・コントラスト・色の変更、アート効果の設定、形状、枠線、などを設定してみます。
- (3) デジカメに付属している本格的な画像処理ソフトや、かつて学習会で扱った画像処理ソフト Jtrim などと比べると見劣りのすることはありますが、**Word 上に取り込んでから写真の処理ができる**良さがあります。また、Word2010 になって処理の種類が増え利用範囲が広がりました。
- (4) Word2007 にはないメニューが幾つかありますが、それらについては必要に応じて書いておきます。
 - ・ **Word2007** を使用している人はそれを承知しておきましょう。
 - ・ **Word2003** とはかなり違います。大幅な改訂がありましたから仕方ないことと言えますが。
- (5) 画像処理の方法についてはテキスト Chapter 15 の手順に従います。これまで

と同様に手順は1種類とは限りません。

- (6) 多数の書式メニューがありますので、時間の許す範囲で学習します。ある程度のことのできれば、全体の見通しが立ちます。

1. 写真の調整をする。

- (1) 写真3の背景を削除する。
写真の背景をPCが判断するほかに、自分で背景を指定することもできる。
(Word2007にはなかった処理である。)
- (2) 写真1の明るさとコントラストを調整する。
- (3) 写真2の色の変更をする。
- (4) その他の濃色バリエーションを適用して色を細かく設定する。
- (5) 図の圧縮をする(ファイルサイズを小さくする)。
- (6) 画像を変更する(写真の入っているフォルダから選んでくる)。
- (7) 図のリセットをする(これまでの変更を取り消して最初の画像に戻す)。

2. 図のスタイルを設定する。

- (1) クイックスタイルを使う。
- (2) 図の枠線を変更する(枠線で囲む)。
- (3) 図の枠線を削除する。
- (4) 枠線の太さを変える。
- (5) 枠線を種類を変える。
- (6) 図の効果を適用する。
- (7) 図のレイアウトを変更する。
(Word2007にはない処理。)

3. 図の配置を設定する。

- (1) 図の位置を指定する。
- (2) 図のレイアウトを詳細に指定する。
- (3) 文字列の折り返しを設定する。
- (4) 最前面へ移動する。
- (5) 最背面に移動する。
- (6) オブジェクトの選択と表示を利用する。
- (7) 配置の指定をする。
- (8) グループ化の設定。
(Word2007にはないと思う。)
- (9) 回転の設定をする。

4. サイズの設定

- (1) 図のトリミングをする。
- (2) サイズを変える。
- (3) サイズの詳細設定をする。
Word上で写真の大きさを変えただけでは、データの量は変わらない。データ量の大きな写真を取り込むときは注意が必要である。

文字入力の雑知識

次のような表記をする方法(踊り字の一種 くの字点)

早くく、 嬉しくてく、 どうしてく、
しかぐ、 離れぐ、

／＼という文字は一回では入力できない。／と＼に分けて入力する。辞書によって異なるがATOKでは文字パレットから拾う。IMEの場合は「挿入」メニューの「特殊文字」から拾う。(種類はCJK用記号)「おなじ」から変換できる辞書もあるらしい。

コード入力する場合

／のUnicode→3033
JIS X 0123→1-2-19
＼はUnicode→3035
JIS X 0123→1-2--21
／＼はUnicode→3034
JIS X 0123→1-2-20